

国 語

「現代文」	単 位 数	4 単 位
	学科・学年・学級	

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 近代以降の様々な文章を読む能力を高める。 2 ものの見方, 感じ方, 考え方を深める。 3 進んで表現することによって人生を豊かにする態度を育てる。 4 進んで読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。
使用教科書・副教材等	『033 新編現代文 改訂版』(三省堂) (第2学年では第1部を扱います)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	配 当 時 間	月	学 習 活 動	備 考 (学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考 査 範 囲
第 1 学 期	*課題テスト					春休みの課題の中からテストを実施。
	中身当てクイズ	1	4	・「中身当てクイズ」を通して、情報を分析する能力を高める。		第 1 学 期 中 間 考 査
	1 生きるということー随想 最初のペンギン	2		・「最初のペンギン」とはどのような存在かを読み取り、不確実な状況の下で生きる人間のあり方について考える。 ・青春期を振り返る文章を読んで、表現することへの思いをとらえる。		
	ピカソの力強い「線」	3				
	2 小説を読む(一) 物と心	3	5	・二人の登場人物の言動を通して、その二人の心理の変化を読みとる。		
	ピクニックの準備	4		・「ピクニック」にまつわる三人の登場人物の関係とそれぞれの心情を読み取る。 ・語句の意味を理解し、的確に用い、語彙を豊かにする。 ・文体やレトリックなどの表現の特色をとらえ、豊かな言語表現の世界に迫る。		
	*基本テスト (週1回程度・1回5分)			・常用漢字の読み書きに習熟し、豊かな語彙を獲得する。	プリント使用。	
	3 科学とともに マンモスの歩いた道	3	6	・筆者が挙げる事例を整理し、筆者の考えをまとめ、それについて理解する。		
	恐怖とは何か コンコルドの誤り	5 3	7	・論理的な文章の構成をとらえる。 ・「コンコルドの誤り」の意味をとらえ、人間の陥る誤謬について考える。 ・語句の意味を理解し、的確に用い、語彙を豊かにする。 ・文体やレトリックなどの表現の特色をとらえ、豊かな言語表現の世界に迫る。		
	*基本テスト (週1回程度・1回5分)			・常用漢字の読み書きに習熟し、豊かな語彙を獲得する。	プリント使用。	
【課題・提出物等】 ① 春休みの課題 ② 授業で使ったプリントやワークシート ③ 授業で作成した意見文 ④ 相互評価カード ⑤ 授業ノート						
【第1学期の評価方法】 ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、基本テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10段階に評定します。						

② 学期全体の評価は、提出物の評価 10%、期末考査の成績 60%、基本テスト 10%、学習活動への参加の姿勢や態度 20%です。

第 2 学期	*課題テスト 4 詩歌 海への距離 1 未確認飛行物体 1 帰途 1 愛を言う君—短歌十二首 4 5 社会へのまなざし 未来世代への責任 6 *基本テスト (週 1 回程度・1 回 5 分)	9	・詩の表現やリズムの特徴の違いなどを理解し、その表現効果について考えを深める。 ・作者の個性的な感性を理解する ・定型詩のおもしろさとその魅力を味わう。	夏休みの課題の中からテストを実施。 短歌の実作を試みる。	第 2 学期 中間考査
	5 社会へのまなざし サッカーと資本主義 4 批評のまなざし① 異文化の中で 1 6 小説を読む (二) 山月記 7 涙の贈り物 5 *基本テスト (週 1 回程度・1 回 5 分)	11	・論理の展開をおさえながら、筆者の考えを的確にとらえる。 ・筆者の考える「国際人」の意味を読み取り、自分の考える「国際人」について小論文にまとめる。	プリント使用。	
【課題・提出物等】 ① 夏休みの課題 ② 授業で使用したプリントやワークシート ③ 授業で作成した意見文 ④ 相互評価カード ⑤ 授業ノート					
【第 2 学期の評価方法】 ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、基本テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10 段階に評定します。 ② 学期全体の評価は、提出物の評価 10%、期末考査の成績 60%、基本テスト 10%、学習活動への参加の姿勢や態度 20%です。					

第 3 学期	*課題テスト 7 考える力—評論 身体 (の) 疎外 5 「知る」ということ 3 8 小説を読む (三) こころ 7	1	・「精神」と「身体」の関わり方の変遷を、論旨に沿って時代ごとにまとめ、現代がどういう時代なのか、筆者の主張について理解を深める。 ・論理の展開に即し、筆者の思考法とその主張を読み取る。 ・論理的に考えとはどういうことかを考える。 ・語句の意味を理解し、的確に用い、語彙を豊かにする。 ・文体やレトリックなどの表現の特色をとらえ、豊かな言語表現の世界に迫る。	冬休みの課題の中からテストを実施。	第 3 学期 期末考査
	2	・近代を代表する小説を読むことを通じて、小説を読む楽しさを味わい、人間についての洞察を深め、自己の人生を考える端緒とする。 ・語句の意味を理解し、的確に用い、語彙を豊かにする。			

期			<ul style="list-style-type: none"> ・文体やレトリックなどの表現の特色をとらえ、豊かな言語表現の世界に迫る。 	
批評のまなざし② 現代の若者像	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考えをとらえ、自らの考えを小論文にまとめる。 	
●条約・法律の文章 子どもの権利条約	2		<ul style="list-style-type: none"> ・法律の文章の表現上の特色（文体や語彙など）をとらえる。 	相互評価 インターネットや図書館の利用
*基本テスト (週1回程度・1回5分)			<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字の読み書きに習熟し、豊かな語彙を獲得する。 	プリント使用。
【課題・提出物等】 ① 冬休みの課題 ② 授業で使用したプリントやワークシート ③ 授業で作成した意見文 ④ 相互評価カード ⑤ 授業ノート				
【第3学期の評価方法】 ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、基本テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10段階に評定します。 ② 学期全体の評価は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、基本テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。				

【年間の学習状況の評価方法】 「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「知識・理解」の観点で評価した、第1学期、第2学期、第3学期それぞれの成績を総合し、年間の学習成績として5段階で評定します。

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・「現代文」の授業でさまざまな文章を読むことを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりするようにする。また、語句の意味・用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえられるようにすること。 ・目的や課題に応じてさまざまな情報を収集し活用して、進んで表現するようにすること。 ・学んだことを定着させるためには復習が肝要。教科書・授業ノートを確かめながら学習内容を整理すること。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に感じた疑問などは、その場で質問をすること。 ・課題・提出物等は期限内に必ず提出すること。 ・相互評価に際しては、客観的、建設的な評価を行うように努めること。

(2) 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・国語に対する関心を深め、国語を尊重しその向上に努めているか。 ・進んで自分の意見や考えを表現し、伝え合おうとしているか。 ・言葉遣いや文体などの表現を、目的や場に応じて工夫しているか。 ・分からないことや興味あることについて進んで調べようとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の姿勢や態度 ・授業の予習 ・授業ノート ・提出された課題
話す・聞く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを持ち、筋道を立てて意見を述べているか。 ・相手の立場や考えを尊重して話し合っているか。 ・言葉遣いや文体などの表現を、目的や場に応じて工夫して話しているか。 ・相手の話を的確に聞き取って、要旨をとらえることができているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の姿勢や態度 ・発表・報告などの姿勢や態度 ・授業での発言 ・授業ノート ・提出された課題
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・書くために必要な情報を収集、整理しているか。 ・自分の考えをまとめたり深めたりしながら、筋道を立てて文章を書いているか。 ・言葉遣いや文体などの表現を、目的や場に応じて工夫して書いているか。 ・様々な表現効果について吟味したことを、書くことや推敲に役立てているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の姿勢や態度 ・授業ノート ・提出された課題 ・定期考査
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の表現の特色について理解を深めているか。 ・音声・文法・表記・語句や語彙、漢字を理解して身につけているか。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な漢字が書けるか。 ・現代社会における言語表現の役割や文化などについて理解しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・基本テスト ・授業ノート ・提出された課題

国 語

「現代文」	単 位 数	4 単 位
	学科・学年・学級	

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 近代以降の様々な文章を読む能力を高める。 2 ものの見方, 感じ方, 考え方を深める。 3 進んで表現することによって人生を豊かにする態度を育てる。 4 進んで読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。
使用教科書・副教材等	『033 新編現代文 改訂版』(三省堂) (第3学年では第2部を扱います)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	配 当 時 間	月	学 習 活 動	備 考	考 査 範 囲
第 1 学 期	*課題テスト		4		春休みの課題の中からテストを実施。	第 1 学 期 中 間 考 査
	1 随想 前の駅でました 聴くということ	2 3		<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が日常の中でとらえた「視点の切り替え」を読み取り、人生の意味について考える。 ・「聴く」ことは選択的な行為だという筆者の主張を理解し、「聴く」ことが語る者を癒すことを知る。 ・教材文をヒントに、自己の体験をもとに話し合う。 ・語句の意味を理解し、的確に使い、語彙を豊かにする。 ・文体やレトリックなどの表現の特色をとらえ、豊かな言語表現の世界に迫る。 	自己の体験もとに話し合う。	
	2 小説を味わう〈一〉 飛行機で眠るのは難しい 不揃いなサンダル	6 3	5	<ul style="list-style-type: none"> ・現代を代表する作家の小説を読み、小説を楽しみ、人間についての洞察を深める。 ・作品の魅力を支える表現の力について理解する。 ・語句の意味を理解し、的確に使い、語彙を豊かにする。 ・文体やレトリックなどの表現の特色をとらえ、豊かな言語表現の世界に迫る。 	プリント使用。	
	*基本テスト (週1回程度・1回5分)			・常用漢字の読み書きに習熟し、豊かな語彙を獲得する。		
第 1 学 期	3 環境と生活－評論 木の葉と光 生活のデザインをめぐる 「私」消え、止まらぬ連鎖	5 7 2	6 7 7	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者のあげる事例を読み取り、筆者の説く「環世界」の意味を考える。 ・近代デザインが私たちが管理するというのはなぜか、また、それがどのような形で行なわれているのかを論旨に沿って読み解く。 ・論旨を読み取り、「私」から切り離された「欲望」がどのような問題をはらんでいるのかを考える。 ・語句の意味を理解し、的確に使い、語彙を豊かにする。 ・文体やレトリックなどの表現の特色をとらえ、豊かな言語表現の世界に迫る。 	自己の体験をもとに話し合う。	第 1 学 期 期 末 考 査
	批評のまなざし③ 生活者として	1		<ul style="list-style-type: none"> ・文章を要約し、文章を読んで考えたことを小論文で表現する。 		
	*基本テスト (週1回程度・1回5分)			・常用漢字の読み書きに習熟し、豊かな語彙を獲得する。	プリント使用。	
【課題・提出物等】 ① 春休みの課題 ② 授業で使用したプリントやワークシート						

③ 授業で作成した意見文 ④ 相互評価カード ⑤ 授業ノート
【第1学期の評価方法】 ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、基本テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10段階に評定します。 ② 学期全体の評価は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、基本テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

第2学期	*課題テスト 4 小説を味わう〈二〉 夏の花 7 5 詩歌 ギリシア的抒情詩 湖水 遺伝 流水や一俳句十二句 3 *基本テスト (週1回程度・1回5分)	9	・「私」が体験し、目撃した光景について読み取り、「このことを書きのこさねばならない」と考えた「私」の思いを考える。 ・叙述の特徴と作品の背景について理解する。 ・詩の表現やリズムの特徴の違いを理解し、その表現効果について考えを深める。 ・作者の個性的な感性や表現を理解する ・定型詩のおもしろさとその魅力を味わう。 ・常用漢字の読み書きに習熟し、豊かな語彙を獲得する。	夏休みの課題の中からテストを実施。 俳句の実作を試みる プリント使用	第2学期 中間考査 第2学期 期末考査
	6 視野をひろげるー評論 夢見る力 6 病と科学 6 12 批評のまなざし④ メディアの現場から 1 *基本テスト (週1回程度・1回5分)	11	・体験を通して得た情報や意見の伝え方を学ぶ。 ・アニメーションとの出会いを通して、筆者は何を学んだのかを理解する。 ・現代における科学のあり方についての筆者の考えを理解する。 ・語句の意味を理解し、的確に使い、語彙を豊かにする。 ・文体やレトリックなどの表現の特色をとらえ、豊かな言語表現の世界に迫る。 「ハイエナ・コンプレックス」の意味を読み取り、「メディア」に対する自分の考えを小論文にまとめる。 ・常用漢字の読み書きに習熟し、豊かな語彙を獲得する。	筆者の意見に対する自分の考えを具体的にまとめる。 プリント使用。	
【課題・提出物等】 ① 夏休みの課題 ② 授業で使用したプリントやワークシート ③ 授業で作成した意見文 ④ 相互評価カード ⑤ 授業ノート					
【第2学期の評価方法】 ① 提出物の評価と定期考査の成績、授業時に実施する小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10段階に評定します。 ② 評価の内訳は、提出物の評価20%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度10%です。					

第3学期	*課題テスト 7 小説を味わう〈三〉 最後の一句 5 8 近代を考えるー評論 私の個人主義 6 2	1	・物語の展開と登場人物の姿から、社会と個人との関係について考えを深める。 ・歴史小説の形式について知る。 ・筆者の言う「個人主義」について考える。 ・講演特有の文体について考える。 ・語句の意味を理解し、的確に使い、語彙を豊かにする。 ・文体やレトリックなどの表現の特色をとらえ、豊かな言語表現の世界に迫る。	冬休みの課題の中からテストを実施。	第3学期 期末考査
	*課題テスト 7 小説を味わう〈三〉 最後の一句 5 8 近代を考えるー評論 私の個人主義 6 2	1	・物語の展開と登場人物の姿から、社会と個人との関係について考えを深める。 ・歴史小説の形式について知る。 ・筆者の言う「個人主義」について考える。 ・講演特有の文体について考える。 ・語句の意味を理解し、的確に使い、語彙を豊かにする。 ・文体やレトリックなどの表現の特色をとらえ、豊かな言語表現の世界に迫る。	冬休みの課題の中からテストを実施。	

期	●情報の読み方・扱い方 グラフから読み取る環境問題 *基本テスト (週1回程度・1回5分)	3	3	・統計資料の読み取りを学習しそれに対する自分の考えを的確にまとめる。 ・常用漢字の読み書きに習熟し、豊かな語彙を獲得する。	冬季休業中のレポートを利用。 プリント使用。
【課題・提出物等】 ① 冬休みの課題 ② 授業で使ったプリントやワークシート ③ 授業で作成した意見文 ④ 相互評価カード ⑤ 授業ノート					
【第3学期の評価方法】 ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、基本テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10段階に評定します。 ② 学期全体の評価は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、基本テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。					

【年間の学習状況の評価方法】 「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「知識・理解」の観点で評価した、第1学期、第2学期、第3学期それぞれの成績を総合し、年間の学習成績として5段階で評定します。

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・「現代文」の授業でさまざまな文章を読むことを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりするようにする。また、語句の意味・用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえられるようにすること。 ・目的や課題に応じてさまざまな情報を収集し活用して、進んで表現するようにすること。 ・学んだことを定着させるためには復習が肝要。教科書・授業ノートを確かめながら学習内容を整理すること。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に感じた疑問などは、その場で質問をすること。 ・課題・提出物等は期限内に必ず提出すること。 ・相互評価に際しては、客観的、建設的な評価を行うように努めること。

(2) 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・国語に対する関心を深め、国語を尊重しその向上に努めているか。 ・進んで自分の意見や考えを表現し、伝え合おうとしているか。 ・言葉遣いや文体などの表現を、目的や場に応じて工夫しているか。 ・分からないことや興味あることについて進んで調べようとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の姿勢や態度 ・授業の予習 ・授業ノート ・提出された課題
話す・聞く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを持ち、筋道を立てて意見を述べているか。 ・相手の立場や考えを尊重して話し合っているか。 ・言葉遣いや文体などの表現を、目的や場に応じて工夫して話しているか。 ・相手の話を的確に聞き取って、要旨をとらえることができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の姿勢や態度 ・発表・報告などの姿勢や態度 ・授業での発言 ・授業ノート ・提出された課題
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・書くために必要な情報を収集、整理しているか。 ・自分の考えをまとめたり深めたりしながら、筋道を立てて文章を書いているか。 ・言葉遣いや文体などの表現を、目的や場に応じて工夫して書いているか。 ・様々な表現効果について吟味したことを、書くことや推敲に役立てているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の姿勢や態度 ・授業ノート ・提出された課題 ・定期考査
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の表現の特色について理解を深めているか。 ・音声・文法・表記・語句や語彙、漢字を理解して身につけているか。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な漢字が書けるか。 ・現代社会における言語表現の役割や文化などについて理解しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・基本テスト ・授業ノート ・提出された課題

3 担当者からのメッセージ

<p>「現代文」では、随想、評論、小説、詩歌など、近代以降のさまざまな文章を扱います。これらの文章を学ぶことを通して、広い視野から人間理解を深め、国際協調の精神を育て、生き生きとした言語活動を営むことのできる国語の力を身につけることを第一のねらいとしています。受け身ではなく自ら学ぶ姿勢をもって授業に参加し、自己を表現すると同時に相手の表現を理解することを心がけてください。また、授業のみならず、日常生活の中でも積極的にことばにかかわり、幅広い視野、人間性を身につける努力を続けてください。</p>
